

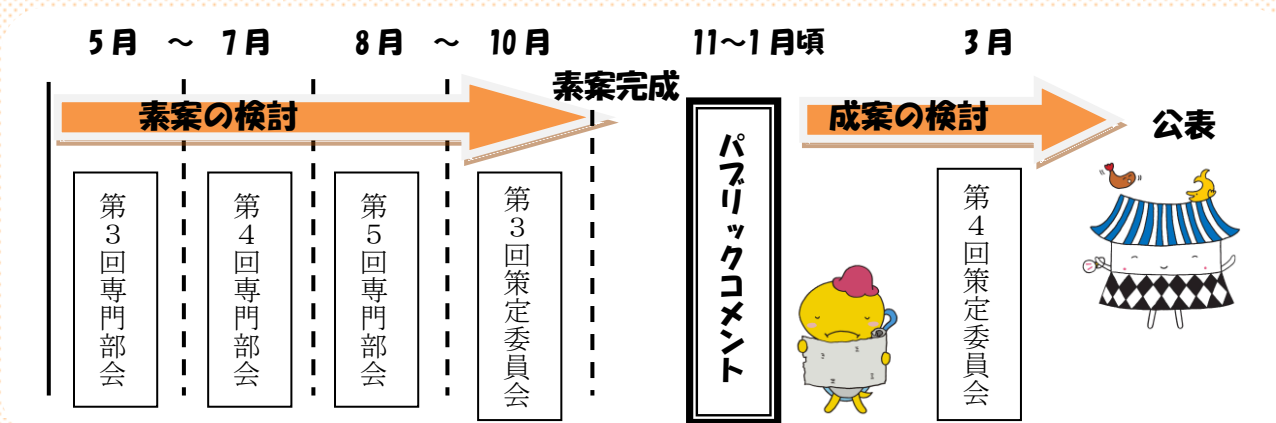
なごやか地域福祉 ニュース

2014.5
第6号

発行：地域福祉に関する計画策定事務局

今年度の策定スケジュール

昨年度は、8月の第1回策定委員会を第1歩として、地域福祉に関する課題と解決の方向性の議論を進めてきました。今年度は、具体的な方策を検討して、計画全体を固めたいので、今年度末に公表となります。その公表までの大まかなスケジュールが決まりましたので、お知らせします。**パブリックコメント**も予定していますので、ぜひご意見を下さいますようお願いいたします。



NHKドラマ(総合 22時～22時48分)『サイレント・プア』との深～い関係！！

4月8日から放映されているNHKドラマ「サイレント・プア」をご存じですか？ 主人公は、東京下町の社会福祉協議会職員である**CSW(コミュニティソーシャルワーカー)***注で、女優の深田恭子さん演じる里見涼が、サイレント・プア 一声なき貧困、見えない貧しさに立ち向かう連続ドラマです。主人公が会うのは、ゴミ屋敷の主、引きこもり、ホームレスなど懸命に生きながらも現代の社会的孤立の淵に佇んでいる人たちです。

注2) 制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組む専門職

現在、策定作業を進めている「**地域福祉に関する計画**」は、このような社会的孤立の淵に佇み、制度の狭間で支援を受けられずに苦しんでいる人々を、市・区社会福祉協議会や名古屋市(行政)、関係機関・団体、地域住民などの連携により支援していくための仕組みを考える計画でもあります。これまでの策定作業の中で、このドラマに登場するCSWのような地域に関わる専門職がもっと必要ではないかとの意見も出ています。

ドラマとともに、「地域福祉に関する計画」に関心を寄せていただくと、地域福祉や社会福祉協議会への理解がよりいっそう深まるかもしれません。

公式ホームページでは、計画の策定状況を順次お知らせしています。

名古屋市地域福祉に関する計画

検索



リレーションシップゴールを目指して

名古屋市と名古屋市社会福祉協議会との合同で、計画を策定するための幹事会やワーキンググループを定期的を開催しています。名古屋市は、健康福祉局と子ども青少年局といった福祉部局だけではなく、市民経済局、住宅都市局、消防局の関係部署も委員に加わっています。

今年度1回目となる4月の幹事会では、日本福祉大学社会福祉学部小松理佐子教授にご出席いただき、「名古屋市地域福祉計画の策定の到達点と今後の課題」と題して勉強会を行いました。その中で小松教授は、「地域福祉に関する評価は難しいが、

リレーションシップゴール（※）がひとつの指標となるのでは」と話されています。

実際、今回の計画をつくるために、策定委員会における様々な団体の代表者や市民の方々、名古屋市役所と社会福祉協議会の様々な部署の職員がともに地域福祉を考えてきました。計画をつくることも大切ですが、そのためにお互いの顔を見ながら話し合うことで生まれる関係が地域福祉においては重要なポイントになると思われます。



第2回策定委員会



ワーキンググループでの討論

※リレーションシップ

パートナーシップやコラボレーションの視点からみた変化度の評価



会議傍聴のお知らせ



5月27日（火）午前10時～正午「第3回専門部会」場所：名古屋市役所東庁舎大会議室
予定議題 地域福祉に関する計画の章立て（素案）について ほか
（この会議は、5名まで傍聴することができます。当日受付午前9時から9時45分現地。）



地域活動の実践例を募集しています！

「わたしの地域では、この活動によって地域の絆が深まっています！」
「NPOや地元企業等と協働しています。」といった貴方の地域の活動をこのニュースに掲載しませんか。皆さまからのご連絡をお待ちしています。



【応募】『担当者名、連絡先、活動の内容がわかるもの』をページ下段の【編集・発行】まで、
メール又はFAXでお送りください。 a2548@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

【編集・発行】名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 ・ 名古屋市社会福祉協議会総務部

Tel 052-972-2547 / Fax 052-955-3367